

---

# HETA × HETA

ペチカ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

H E T A × H E T A

### 【Nコード】

N 8 3 3 1 T

### 【作者名】

ペチカ

### 【あらすじ】

2100年の平和が気に入らない国達のために、日本がハイテクのゲームを作り上げました。  
危険なゲームの中で、国達がクリアを目指して戦います。

## ゲームスタート

2100年、完全な平和が実現した。

しかしケンカ好きの国達はそれが気にいらぬ。

何故なら争うこと全体を禁止されたからだ。

そんな国達のために、日本は最新のハイテクゲームを開発したのであった。

「言つて置きますが危険ですよ」

日本は心配そうに言った。

「いいから…早くアイツ殴らせてっ」

ハンガリーは拳を振るわせている。

「それでは、ルールを説明します」

ハンガリーに急かされ、日本は話し始めた。

「このゲームは、ゲーム内に意識を転送することでプレイすることが出来ます。しかし、プレイ中に機械にトラブルが起きた場合、意識が戻らなくなる可能性があります。それでも…」

日本は自分の前にある国達の山を眺め、溜め息を漏らした。

「やるんですね、わかりました」

そして、それぞれ位置に付くように目で示した。

「それでは、手元のヘッドホンを付けてください」

皆、ヘッドホンをつける。

「それでは、行ってらっしゃいませ」

そう言い、白いキーのようなものを押した。

ヴン…

国達の視界がかすれ、周りの風景が変わる。

ボンッ！

いかにもゲーム的な音が聞こえ、ケータイがそれぞれの目の前に出現した。

“ケータイは出ましたか？”

どこからか日本の声が響いた。

“これからはそのケータイから説明させていただきます”

国達は恐る恐るケータイを開く。

「それでは、クリア条件を発表します。そのケータイは、連絡を取るのに使うので、無くさないようにしてください」

皆、ケータイを握りしめる。

「皆さんの大切な記憶を一つ消させていただきました」

「え…」

それは、あまりにも意外すぎた。

「このゲームのクリア条件は、その記憶を思い出し、皆さん全員1ヶ所に集まることです。ケータイがあるので、皆さんが集まるのはとても簡単だと思います。しかしこのゲームには、GAMEOVERがあります。それはそちらでいう“died”つまり“死”ということになります。悪魔のニーチェに殺されないように気を付けてください」

そこまで言ったところで、ケータイの画面にカードのようなものが映った。

「あと、この世界にはアイテムカードがあります。クリアに役立つものです」

カードには、アイテムの名前と写真が乗っていた。

「どんなに戦っても現実の体には問題ないので、存分に楽しんでください」

そう言い日本はゲーム画面に呟いた。

「それではゲーム…スタートです！」

## ゲームスタート(後書き)

やっぱり話書くのは面白いです！続きとか書けたらいいですね！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8331t/>

---

HETA×HETA

2011年10月9日08時07分発行